

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2332		
科目名	球技論		
担当教員	松尾 絵梨子		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 3		
講義室	1307	単位区分	選,選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E（学識・専門技能）専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識・専門技能 （60%） F2 探求力・課題解決力（20%） I1 理解力・分析力 （20%）		
教員の実務経験	2003年から2016年までプロサッカーコーチとして、日本サッカー協会およびプロサッカークラブ（Jリーグ）で育成年代を対象に現場で指導を行うと同時に、日本サッカー協会公認の指導者養成インストラクターとして、指導者の養成に携わってきました。本授業では、球技の1つであるサッカーの現状や最新事情など、現場での事例もふまえながら講義を進めます。（第2回、第3回、第6回～第14回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	本講義は、球技に分類される各種目の種目特性論、戦術の分類及び系統発生、チーム戦術の機能構造、グループ戦術の機能構造、戦術力の個体発生及び獲得と修正、戦術力のテストと評価について資料、視聴覚教材等を用いて学習する。これによって球技全般に通底する特性を理解し、球技スポーツを広い視野で捉え、自らの実践やコーチングに役立てることを目的とします。授業形態は、講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 球技・特性・戦術		
授業の趣旨	■副題 球技の持つ魅力や社会的意義や歴史など球技の特性について、また競技力の前提条件や個人に求められる能力など戦術の機能構造などについて学習します。 ■授業の目的 球技の持つ特性を理解し、多角的な視点で球技を見ることができるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 球技を多面的にとらえ、自身の競技力向上に役立つ知識を深めます。		

総合到達目標	■球技の「社会的意義」、「歴史」、「競技力構造」、「行為規整」および「訓練法」を修得するために、球技に関する様々な知識を理解し、練習と試合の分析と課題抽出および練習方法を考案できる能力を修得する。 ・自分の専門種目のみならず球技全般の歴史や意義について理解し、説明できる。（第2回～第5回） ・戦術の構造や、必要な前提条件などについて理解し、説明できる（第6回～第10回） ・種目特性や技術・戦術について理解し、課題に即した指導計画を立てることができる。（第11回～第14回）	
成績評価方法	（成績評価手段） 授業レポート7回、課題レポート1回、まとめレポート1回 ※授業の進行具合により変更する場合がある。 ■授業レポート（70%）適応ルーブリック E1、I1 （評価の観点）講義のCues、Note、Summaryの内容（量と質）を評価します。 （フィードバック）提出後に講評を行います。 ■課題レポート（15%）適応ルーブリック F2、I1 （評価の観点）提出・期限・内容（量と質）を評価します。 （フィードバック）発表後、講評を行います。 ■まとめレポート（15%）E1、F2、I1 （評価の観点）設問に対して適切に回答しているかを評価します。また回答の量（80%以上）と質（論理的）についても評価します。	
履修条件		
履修上の注意点		
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明をおこなう。また授業の概要やその方法を学ぶ。（I1） ③予 習（120分）シラバスを読み、講義全体の流れを理解しておく。 ④復 習（120分）専門種目とそれ以外のそれぞれの専門書を読み、共通点や相違点についてまとめておく。
	2	①授業テーマ 球技の社会的意義① ②授業概要 球技の概念と特徴について学ぶ。球技の社会的な問題について検討し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）資料を読み、自身の考えをまとめておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	3	①授業テーマ 球技の社会的意義② ②授業概要 球技の分類、役割などについて学ぶ。球技の社会的な問題について検討し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）球技の社会的意義について、身近な例を探してまとめておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	4	①授業テーマ 球技の歴史① ②授業概要 球技の諸形式と初期の成り立ちについて学ぶ。初期の球技はどのように発生し形式化してきたか学習し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） ③予 習（120分）任意の球技の歴史について調べてまとめておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目の歴史について調べてまとめておく。
	5	①授業テーマ 球技の歴史② ②授業概要 近代の球技の成立と普及について学ぶ。球技はどのような経緯で発展してきたか学習し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） ③予 習（120分）自身の専門種目の歴史について調べてまとめておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
	6	①授業テーマ 競技力構造① ②授業概要 球技の競技力構造の科学理論について学ぶ。競技力の特徴やその構造、さらに要因について学習し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。

	③予 習（120分）自身の種目の競技力構造について調べておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目の特徴について調べてまとめる。
7	①授業テーマ 競技力構造② ②授業概要 試合の競技力構造について学ぶ。また個人の技術的・戦術的能力について理解を深め、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）自身の種目の個人・集団の技術的と戦術的能力について調べておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目の特徴について調べてまとめる。
8	①授業テーマ 行為規整① ②授業概要 行為規整に必要な諸活動について学ぶ。行為規整とは何か概念から学び、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）行為規整について、自身の種目を題材にまとめる。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目の全体計画を作成する。
9	①授業テーマ 行為規整② ②授業概要 競技力の前提条件について学ぶ。個人的競技能力の前提条件と、集団的競技能力の前提条件について学び、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）自身の種目の個人的・集団的競技能力の前提条件について調べておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目の全体計画を作成する。
10	①授業テーマ 行為規整③ ②授業概要 ゲーム行為の心理的規整と行為規整の各機能単位における特殊な要求について学び、受講生はそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）ゲーム行為の心理的規整について調べておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目の全体計画を作成する。
11	①授業テーマ 基礎訓練の内容と方法① ②授業概要 球技における教育と訓練の目標、主要課題、原理について学習し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）任意の球技について、教育と訓練の目標は何か調べておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。
12	①授業テーマ 基礎訓練の内容と方法② ②授業概要 教育と訓練の内容と方法について学習し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）自身の種目の訓練方法について調べておく。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目において課題を抽出し、練習の目標を作成する。
13	①授業テーマ 試合① ②授業概要 試合の機能、種類や制度について学習し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）任意の試合を観戦し、気になる項目について分析する。 ④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目において試合の分析方法についてまとめる。
14	①授業テーマ 試合② ②授業概要 試合の分析方法などを学習し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、実例を挙げて講義します。 ③予 習（120分）自身が所属するレベルの試合について、さらにトップレベルと比較し、試合の機能や制度について問題点を調べておく。

	④復 習（120分）講義のCues、Note、Summaryのそれぞれを見直す。必要なら加筆修正する。自身の専門種目において試合の分析方法についてまとめておく。 ①授業テーマ まとめと発表 ②授業概要 これまで学んできた球技について振り返るとともに、まとめレポートをおこなう。（E1、I1） ③予 習（120分）授業内容を振り返り、不明点を確認しておく。 ④復 習（120分）講義内容をまとめておく。
関連科目	球技論演習（SSCS3623）
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	ボールゲームの指導辞典（G・シュティーラーほか〔著〕、唐木國彦〔監訳〕、大修館書店）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 必要な時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。
研究比率	

